

ほけんだより 3月

令和5年3月13日（月）いわき翠の杜高等学校保健室発行

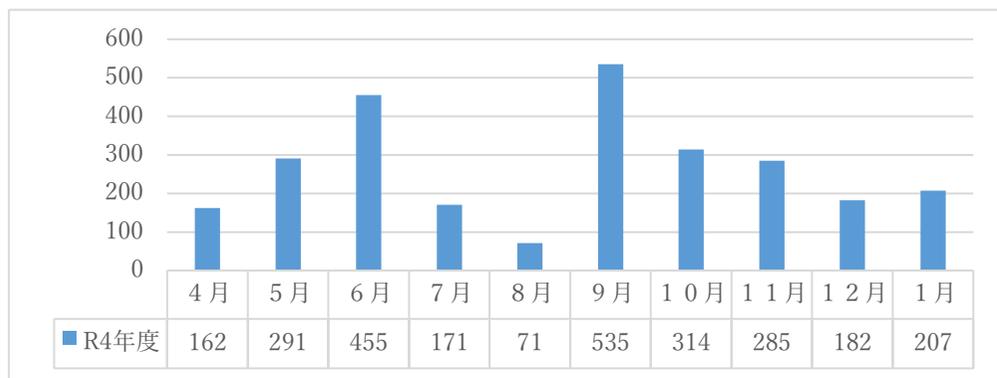
3月1日、本校卒業生37名が翠の杜を巣立って行きました。先生方や保護者の皆様に見守られて、校長先生から一人一人卒業証書を授与され、厳かな雰囲気の中、式は行われました。3月はまた、締めくくりの月でもあります。在校生はこの一年の自分をもう一度振り返ってみましょう。

2月16日本校で学校医の先生と学校歯科医の先生をお招きし学校保健委員会が開催されました。

学校歯科医の先生からは、本校生徒のう歯の未処置率は（44.4%）全国平均（15.7%）と比較しても高いとの指摘がありました。

う歯を治療しておかないと、将来身体に影響が出ることがあります。長期休業中に治療しておきましょう。

今年度の保健室利用状況



※特に保健室の利用が多かった月は、6月と9月です。

4月に新年度が始まり5月は大型連休があり、また7、8月は夏休みで、環境が大きく変わる時でもありました。

※保健室の利用時間として、授業中の利用はだいぶ少なくなってきましたが、授業が始まる前に駆け込んでくる生徒も若干いました。授業中や授業にずれ込む恐れのある人は、必ず授業担当の先生に一言言って来室してください。

今年もまた、つらい花粉症の季節がやってきました。

2023年日本気象協会の春の花粉飛散予測によると、前シーズンより関東甲信越では飛散量が多く、東北地方では地域差はあるが多い見込みであるとの予測が出ています。

花粉の飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響します。2022年の夏は6月後半から7月上旬にかけて太平洋高気圧が強まり、東・西日本を中心に晴れて、かなりの高温となりました。そのため、6月には、スギの花芽形成に好条件となりました。

さらに、2021年～2022年に花粉飛散量が少なかった地域が多く、スギの木に花を形成させるエネルギーが蓄えられていたため、より一層、スギの花粉形成が促進されてしまったと考えられます。

日本気象協会ホームページより

